

広報

にしあいづ

11

2024
No.793

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

登録をお願いします！

もくじ - Contents -

P2 特集1 西会津町誕生70周年特集
西会津町70年の歩み後編

P4 特集2 町の家計簿
令和5年度決算報告

P8 まちの話題
西会津国際芸術村開村20周年記念事業、こゆりこども園運動会、
高齢者・障がい者合同スポーツ大会 ほか



2014 ▶2024



西会津小学校の新校舎や第3定住促進住宅、にぎわい番所ぷらっとなどの公共施設が完成しました。また、町役場が現在の場所へ移転するなど、新しい町の基盤が整備されました。

- 2018 平成 30 年
 - 4月 ○町道野沢柴崎線 新「橋屋橋」開通
 - 6月 ○埼玉県戸田市との教育交流提携締結
 - 7月 ○旧西会津小学校を改修した町役場新庁舎が開庁
 - 9月 ○千葉県市川市との相互交流に関する協定締結
 - 10月 ○定時定路線バス運行開始
 - 11月 ○沖縄県大宜味村との「結」交流協定締結
 - 12月 ○町地域学校協働本部が文部科学大臣表彰を受賞
- 2019 平成 31 年 令和元年
 - 3月 ○広野町・平田村・西会津町による浜・中・会津友好交流協定締結
 - 6月 ○公立大学法人会津大学との連携・協力に関する協定締結
 - 11月 ○町制施行 65 周年記念式典を開催
- 2020 令和 2 年
 - 2月 ○新型コロナウイルス感染症対策本部設置
 - 10月 ○第3定住促進住宅「トゥジュール西会津」入居開始
 - 11月 ○市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会ふくしま駅伝 過去最高総合 29 位
- 2021 令和 3 年
 - 3月 ○町デジタル戦略を策定
 - 5月 ○新型コロナワクチン集団接種が開始
 - 10月 ○旧芝草保育所を改修し、子育てコミュニティ施設「キッズランド芝草」を開設
- 2022 令和 4 年
 - 4月 ○まちなか再生拠点施設「にぎわい番所ぷらっと」オープン
 - AI オンデマンドバスの運行開始
 - 7月 ○町交通安全母の会が内閣総理大臣表彰を受賞
 - 8月 ○奥川地区を中心に豪雨災害発生
 - 9月 ○市町村対抗福島県軟式野球大会で西会津町チームが初のベスト 8 進出
 - 11月 ○町老人クラブ連合会厚生労働大臣表彰・優良老人クラブを受賞
 - 12月 ○福島大学と包括連携協定締結
- 2023 令和 5 年
 - 5月 ○4年ぶりに在京西会津会総会を開催
 - 9月 ○ふるさと応援寄附金額が単年度で初の2億円突破
 - 10月 ○一般財団法人西会津町農業公社が業務開始
- 2024 令和 6 年
 - 1月 ○町のブランドコンセプト、「日本の田舎、西会津町。」を商標登録
 - 8月 ○夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を開催
 - 西会津町消防団が県消防操法大会で準優勝
 - 11月 ○町制施行 70 周年記念式典

キッズランド芝草



にぎわい番所
ぷらっと



◀約 420 人が集まりラジオ体操で体を動かしました



70 年の歴史とともに 未来へ歩み続ける

西会津町 70 年の歩み 後編

令和 6 年 7 月 1 日、西会津町は町制施行 70 周年を迎えました。これを記念し、先月 10 月号から「西会津町誕生 70 周年特集」を掲載しています。今回は、西会津町 70 年の歩み後編として平成 26 年(2014)から令和 6 年(2024)を振り返ります。

- 2014 平成 26 年
 - 2月 ○埼玉県三郷市との災害時相互応援協定締結
 - 4月 ○にしあいづ観光交流協会設立
 - 9月 ○西会津町民憲章制定
 - 11月 ○にしあいづ健康ミネラル野菜普及会が豊かなむらづくり顕彰・全国表彰で農林水産大臣賞を受賞 ○町制施行 60 周年記念式典を開催
- 2015 平成 27 年
 - 4月 ○西会津小学校、新校舎で授業開始
 - 9月 ○町交通安全母の会が内閣府の交通安全功労者交通対策本部長表彰を受賞
- 2016 平成 28 年
 - 8月 ○地域連携販売力強化施設「ミネラル野菜の家」オープン
 - 10月 ○町食生活改善推進委員会が平成 28 年度栄養関係功労者厚生労働大臣賞を受賞
- 2017 平成 29 年
 - 4月 ○「西会津町こゆりこども園」開園
 - 6月 ○旧野沢幼稚園跡地に「たかはし桜公園」オープン

ミネラル野菜の家



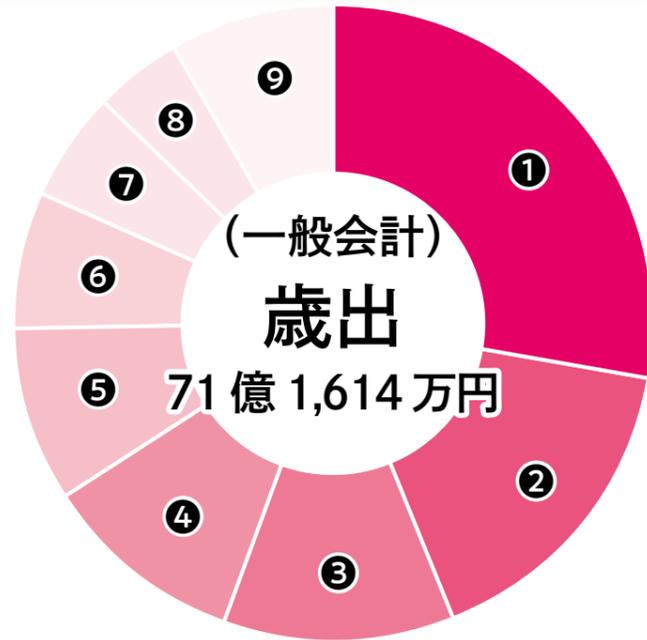
◀ミネラル野菜の家のオープンにより、ミネラル野菜やキノコ、米などの販売ブースがさらに充実しました

用語解説

一般会計＝町の基本的な行政運営のための会計。福祉や土木、教育などの一般的な事業を行う／依存財源＝国や県などから交付されるお金／自主財源＝町が自ら収入できるお金／地方交付税＝一定水準の行政サービスができるように自治体の財政状況に応じて国から交付されるお金／町債＝道路改良や施設整備などを行う際に、その資金として長期的に借り入れるお金。また、財源不足を補うため地方交付税の代わりに借りるお金／繰入金＝基金（積立金）や特別会計から入るお金／総務費＝役場庁舎の維持管理、地域振興、情報政策などに要するお金／民生費＝児童や高齢者、障がい者福祉などに要するお金／公債費＝町債などの借入金の返済に充てるお金／財政調整基金＝町の貯金。予算に不足が生じた場合は取り崩し、余裕ができた場合は積み立てる

【目的別】

- ①総務費 …… 19億9,488万円 (28.0%)
- ②民生費 …… 11億4,670万円 (16.1%)
- ③公債費 …… 8億2,157万円 (11.5%)
- ④土木費 …… 7億3,819万円 (10.4%)
- ⑤農林水産業費 …… 6億3,684万円 (9.0%)
- ⑥衛生費 …… 4億9,061万円 (6.9%)
- ⑦教育費 …… 3億8,567万円 (5.4%)
- ⑧消防費 …… 3億1,216万円 (4.4%)
- ⑨その他(商工費など) …… 5億8,952万円 (8.3%)



■一般会計歳入
(総額74億9,804万円)

歳入では、各事業の増減があったものの、総額では前年度と比較して2億7,166万円増の74億9,804万円となりました。

歳入全体の44・3%を占める地方交付税では、普通交付税が372万円の減額、災害や震災復興などの特別な事情で交付される特別交付税が9665万円の減額の合計1億37万円の減となりました。前年度からの繰越金で財源を確保したことに伴い対前年度比3億7789万円増加した一方、財政調整基金などからの繰入金対前年度比1億139万円の減額となりました。また、自主財源の確保については、ふるさと応援寄附金が前年度を4772万円上回る2億4204万円となった一方、企業版ふるさと寄附金が1700万円減少したことなどにより、寄附金総額は3308万円の増額となりました。

■一般会計歳出
(総額71億1,614万円)

歳出総額は前年度と比較して4億9856万円増の71億1614万円となりました。目的別の前年度と比較した主な増減内容は次のとおりです。

総務費 令和4年8月に発生した豪雨災害の復旧事業の財源として県補助金が1億7106万円交付されたことなどにより、財政調整基金積立金は2億1939万円の増

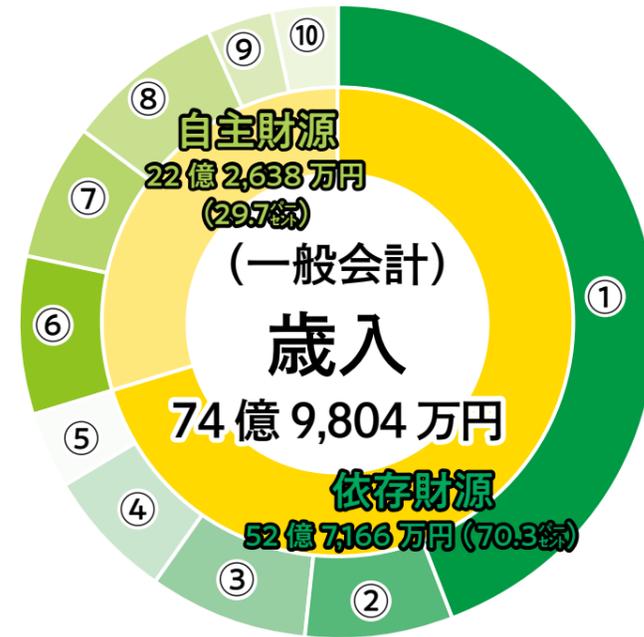
民生費 物価高騰対策重点支援給付金事業の実施により8355万円の増

土木費 繰越事業を含む除雪機械購入費で1億372万円の増

災害復旧費 令和4年8月に発生した農地及び農業用施設、林業施設の災害復旧に係る経費2億7533万円の増

決算に表れる数字は、町がどのような事業に取り組みどれだけのお金を使ったのか、財政状況や将来の負担はどうかなどを読み取るために重要な役割を果たします。

今月号では、町議会9月定例会で認定された令和5年度の一般会計および特別会計などの決算の概要についてお知らせします。



■決算の概要

令和5年度一般会計の決算は、歳入総額が74億9804万円(対前年度比3・8%増)、歳出総額が71億1614万円(7・5%増)となり、前年度決算と比較して歳出が5億円ほど増加しました。増加となった要因は、令和4年8月に発生した豪雨災害に関する経費など約3億円増加したことが主なものです。

歳入歳出の差引額は3億8190万円の黒字決算となりました。このうち令和6年度に繰り越した事業に4788万円の財源が必要となるため、歳入歳出差引額から令和6年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は3億3402万円の黒字となりました。また、令和4年度の実質収支を差し引いた単年度収支は5231万円の黒字となりました。

(表1参照)

町の家計簿 令和5年度 決算報告

【依存財源】

- ①地方交付税 …… 33億2,188万円 (44.3%)
- ②国庫支出金 …… 5億6,553万円 (7.5%)
- ③県支出金 …… 6億625万円 (8.1%)
- ④町債 …… 5億320万円 (6.7%)
- ⑤その他(地方譲与税など) 2億7,480万円 (3.7%)

【自主財源】

- ⑥町税 …… 6億342万円 (8.1%)
- ⑦繰入金 …… 5億1,329万円 (6.9%)
- ⑧繰越金 …… 6億880万円 (8.1%)
- ⑨寄附金 …… 2億4,828万円 (3.3%)
- ⑩その他(使用料など) …… 2億5,259万円 (3.3%)

表1 一般会計の決算収支状況 [単位：万円]

①歳入総額	74億9,804
②歳出総額	71億1,614
③歳入歳出差引額 (①-②)	3億8,190
④翌年度に繰り越すべき財源	4,788
⑤実質収支 (③-④)	3億3,402
⑥単年度収支	5,231
⑦財政調整基金積立金	5億8,807
⑧繰上償還金	0
⑨財政調整基金取崩額	4億8,324
⑩実質単年度収支 (⑥+⑦+⑧-⑨)	1億5,714

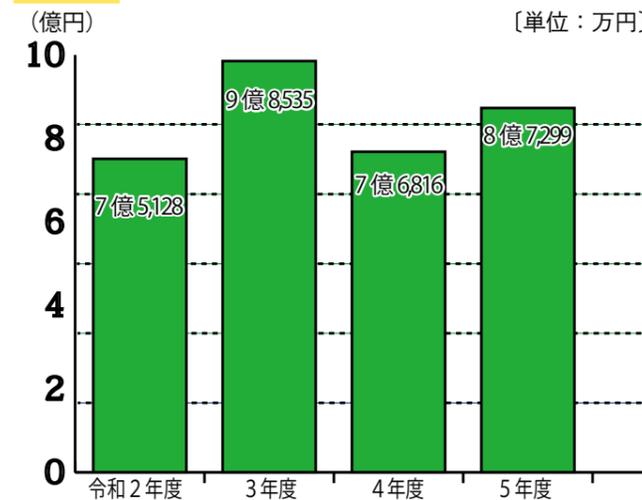
表4 財政健全化判断指標

指標	令和4年度	令和5年度	基準値
実質公債費比率 (標準財政規模に占める借入金の返済額の割合)	12.2%	12.1%	25%以上 → 早期健全化 35%以上 → 財政再生
将来負担比率 (標準財政規模に対する実質的な負債の割合)	85.8%	78.2%	350%以上 → 早期健全化

グラフ1 年度末の町債(借入金)残高の推移 [単位:万円]



グラフ2 年度末の財政調整基金(貯金)残高の推移 [単位:万円]



総務課 財政係
45-2211
お問い合わせ先

今後、国の動向や地方交付税の推移に注視するとともに、引き続き、ふるさと応援寄附金などの自主財源の確保、国・県補助金の有効活用、公債費の後年度負担を中長期的に反映させた計画的な町債の借入れなど、多角的な視点を持って持続可能な財政運営に努めていきます。

財政健全化に関する比率等
地方公共団体の財政の健全化に関する法律では、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つの比率で判断する健全化判断比率と⑤資金不足比率を議会に報告し、町民の皆さんなどに公表することになっております。

令和5年度決算では、一般会計、特別会計すべての会計において赤字はなく、公営企業会計での資金不足もなかったため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は算出されませんでした。実質公債費比率と将来負担比率は表4のとおりで、両比率とも国が定める基準値を大きく下回っています。

将来負担比率の減少の主な要因は、地方債現在高が減少したこと、財政調整基金などの基金残高の増加によるものです。令和5年度末の町債の残高は94億5,500万円、一般会計、特別会計等ともに減少したこと、前年度から3億7,490万円減少しました(グラフ1参照)。なお、町債の返済においては、おおよそ56割が地方交付税で補てんされるため、実質的な町の負担は44割になっております。

財政調整基金の令和5年度末の残高は、前年度から1億4,833万円増加し、8億7,299万円となりました(グラフ2参照)。令和4年8月に発生した豪雨災害の農地・農業施設災害復旧事業の財源として県補助金が1億7,106万円交付されたことなどにより財政調整基金積立金が増加しました。

今後の見込み
今後の公債費の見込みは、認定子ども園整備などの大規模事業実施時に借入れした地方債の返済が始まったため、令和4年度をピークに令和7年度まで8億円を超える償還が続く見込みで、以降、緩やかに減少していきます。本町では、地方交付税などの依存財源が多く、その動向によって各種指標の増減や財政構造の弾力化をはじめ、財政運営全般にわたり大きな影響を受けます。

表2 実施した主な事業(一般会計) [単位:万円]

総務費		
過疎地域持続的発展支援事業	2,103	
地域おこし協力隊配置事業	4,797	
定住住宅整備費補助金	1,009	
ケーブルテレビ放送設備更新事業	4,436	
西会津町デジタル戦略推進事業	1,607	
ふるさと応援寄附金事業	1億4,299	
町議会議員選挙費	1,171	
民生費		
出産祝金	910	
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	2,562	
物価高騰対応重点支援給付金	8,086	
認定子ども園運営費	1億6,094	
衛生費		
予防接種等事業	1,864	
新型コロナウイルスワクチン接種事業	3,642	
検(健)診事業	1,698	
新たな健康づくり推進事業	956	
ごみ処理費	4,228	
農林水産業費		
中山間地域等直接支払事業	7,637	
農業公社設立準備事業	3,515	
多面的機能支払交付金事業	3,946	
生産資材等緊急対策事業	1,913	
鳥獣被害防止対策事業	1,499	
菌床栽培ハウス整備工事	6,120	
広葉樹林再生事業	4,465	
林業専用道整備事業	3,197	
商工費		
消費再生商品券事業	2,917	
土木費		
除雪費	1億7,412	
除雪機械購入費	1億1,670	
町道改良舗装事業(町道改良・舗装補修ほか)	5,801	
橋りょう補修事業(高橋、荒田橋ほか)	4,474	
消防費		
防災行政無線機器増設改修事業	2,257	
空き家等適正管理理解体補助金	500	
教育費		
教員宿舎外壁等改修事業	1,112	
給食センター給水給湯管更新事業	2,136	
災害復旧費		
農地及び農業用施設災害復旧事業	2億1,656	
公共土木施設災害復旧事業	1億1,862	

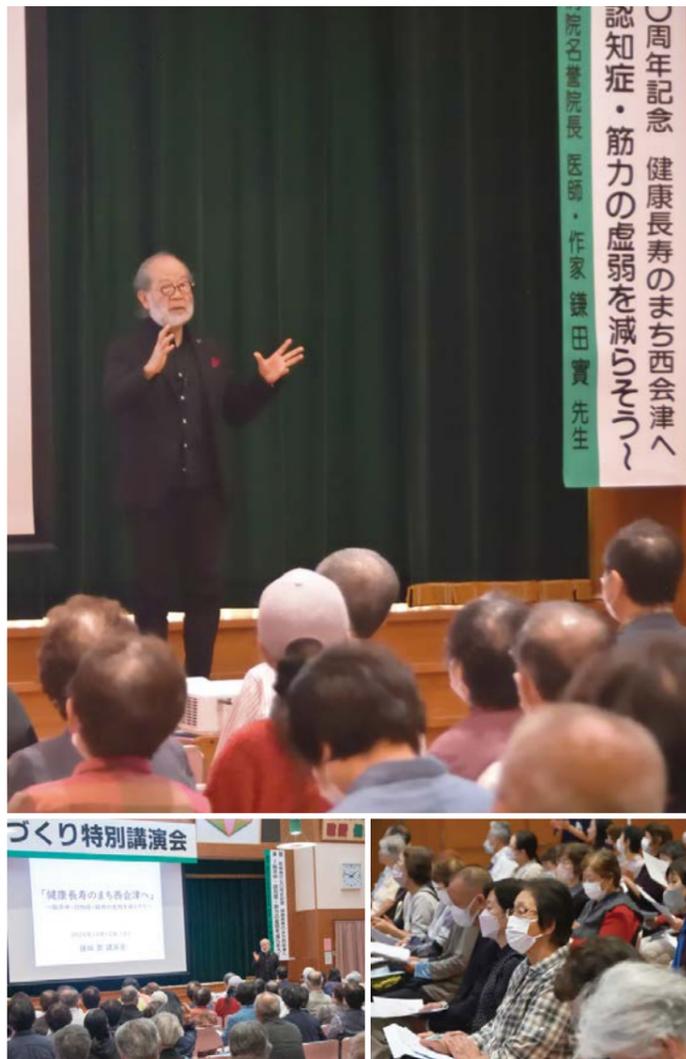
表3 特別会計等の決算状況 [単位:万円]

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	
工業団地造成事業特別会計	6	0	6	
住宅団地造成事業特別会計	632	111	521	
後期高齢者医療特別会計	1億323	1億309	14	
国民健康保険特別会計	事業勘定	7億1,879	7億1,516	363
	診療施設勘定	3億4,279	3億2,849	1,430
介護保険特別会計	12億3,600	12億532	3,068	
特別会計 総額	24億719	23億5,317	5,402	
水道事業会計				
収益的収支	2億4,630	2億3,078	1,552	
資本的収支	1億4,105	2億7,269	▲1億3,164	
下水道事業会計				
収益的収支	3億4,692	3億3,328	1,364	
資本的収支	1億7,301	2億5,962	▲8,661	
公営企業会計 総額	9億728	10億9,637	▲1億8,909	

特別会計等

特別会計等では、上・下水道事業のほか国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療などの事業運営を行っています。なお、会計ごとの決算総額は表3のとおりです。

※公営企業会計の資本的収支の不足分には留保資金などを補てんしているため、赤字や資金不足とはなっていません。



鎌田實先生による 健康づくり特別講演会

10月12日、諏訪中央病院名誉院長で作家の鎌田實先生を講師に招き、健康づくり特別講演会を開催しました。西会津中学校多目的ホールで開かれたこの講演会には約300人が集まりました。

はじめに、フレイルや認知症予防にも役立つ新しい体奏「西会津さすけねえ輪音頭」の歌や振り付けのお披露目が行われ、その後、「町制施行70周年記念 健康長寿のまち西会津へ」～脳卒中・認知症・筋肉の虚弱を減らそう～と題し、鎌田先生による特別講演が行われました。講演では、脳卒中や心臓病、認知症、がんなどにならないための予防法が紹介され、鎌田先生は、運動や減塩、野菜の摂取が大切であると来場者に呼び掛け、全員で「鎌田式スクワット」を練習しました。

鎌田先生のユーモアを交えた講演を聞いた皆さんは、自身の健康について考えるきっかけになっていたようでした。

西高生が奉仕活動で 地域貢献

10月2日、西会津高校の生徒たちが、町内施設で奉仕活動を行いました。この活動は、奉仕の精神を養い、地域の皆さんとの出会いや喜びを得ることを目的としています。

道の駅にしあいづ、さゆり公園、しなのきホーム西会津、西会津しょうぶ苑、さゆりの園の5カ所に分かれて、施設内の清掃や窓ふき、車いす清掃などを行いました。生徒たちは、日頃お世話になっている地域の皆さんに感謝を伝える気持ちで、一生懸命取り組みました。



西会津国際芸術村開村 20周年記念事業

今年度開村20周年を迎えた西会津国際芸術村の20周年記念事業が9月25日に実施されました。第1部の式典では、薄町長より安藤壽美子前NPO法人西会津国際芸術村理事長をはじめ6人に感謝状が贈られ、これまでの貢献に感謝の意を表しました。

第2部では、「西会津国際芸術村の20年を振り返る」と題し、薄町長や過去の滞在アーティストによるトークセッションが行われました。

第3部では、地元の皆さんが作った郷土料理を囲み、交流会が行われました。関係者らは和やかな雰囲気の中、開村20周年を祝い、これまでの軌跡を振り返り、今後の文化交流と地域の活性化について語り合いました。



大賞受賞者

【一般の部】大塚弘さん（福島市）
「summer flow」

【U18部門】阿部夏芽さん（福島東高校3年）
「桜咲く」

【U15部門】森山礼斗さん（会津若松市立第二中学校3年）
「草原で遊んでいるねこ」

第19回西会津国際芸術村 公募展2024



9月25日～10月20日を会期に開かれた第19回西会津国際芸術村公募展2024には、全国から作品が寄せられ、一般の部73点、U18部門38点、U15部門43点、計154点の力作が木造校舎に並びました。

10月5日には表彰式が行われ、西会津国際芸術村ディレクターの矢部佳宏さんがあいさつした後、薄友喜町長が祝辞を述べました。受賞者の皆さん（左写真）は、作品への思いや苦勞、受賞の喜びを語り、賞状を受け取りました。

第40回高齢者・障がい者合同スポーツ大会

9月27日、第40回高齢者・障がい者合同スポーツ大会がさゆり公園多目的広場で5年ぶりに開催され、約270人が秋晴れの空の下、さわやかな汗を流しました。町内5地区対抗で行われる本大会は、趣向を凝らしたユニークな種目で競われ、選手の好プレーや珍プレーが出るたびに会場には声援や笑い声が響きました。

大会の結果は次のとおりです。優勝＝新郷地区、準優勝＝群岡地区、第3位＝奥川地区

1. モデルに順に服を着せ手をつないでゴールする「ファッションショー」／2. 背負ったカゴにごみに見立てた缶やお手玉を拾いバトンをつなぐ「クリーン作戦」／3. 注いだ水で棒浮きを取り出しゴールを目指す「一升ビン友の会」／4. お尻で風船を割りバトンをつなぐ「ケツ庄測定」／5. 優勝した新郷地区へ賞状授与



諏方・熊野 両神社祭礼

9月13日から15日の3日間にわたり、諏方・熊野両神社の祭礼が行われました。

祭礼のメインとなる14日の本祭りでは、重要な祭事である「神輿渡御」が行われた後、昼ごろから子ども神輿が、その後、本町有志会、すごろく会、睦会による大人神輿がそれぞれまちなかに練り出しました。雨の降る中「わっしょい、わっしょい」「もーめ、もーめ」という力強い掛け声が夕暮れまで響き、野沢のまちなかは祭りの熱気であふれました。



こゆりこども園 運動会

9月28日、こゆりこども園で運動会が行われ、園児らが園庭を駆け回りました。

元気いっぱいなラジオ体操で幕を開けた運動会は、玉入れや綱引き、駆けっこ、歌に合わせたダンスと続きました。保護者参加型の種目では親子が息を合わせて笑顔でゴールテープを切っていました。

ひまわり組によるお遊戯ではいきいきとしたダンスの後、バルーンを使った演出があり、園児のこれまでの練習の成果が発揮された発表でした。

園児らは保護者や先生たちからたくさん声援を受けて、各種目に参加し、楽しいひとときを過ごしました。

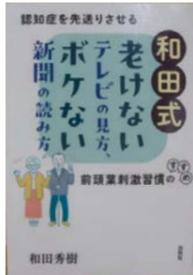


西会津にぎわいまつり

9月29日、「西会津にぎわいまつり・フォルクスワーゲン in 越後街道野澤宿大集合」が開催され、野沢中央通りには今年も全国から集まった往年のフォルクスワーゲンがずらりと並びました。

会場では西会津大山さゆり太鼓や福島ベンチャーズによるステージ、西会津町の特産品が当たる抽選会など、子どもから大人まで楽しめるイベントが行われました。また、フリーマーケットや食べ物の出店もあり、多くの観光客でにぎわいました。

西中町民図書館 新刊オススメ本



『和田式老けないテレビの見方、ボケない新聞の読み方』
[和田 秀樹 著]
白秋社

人生 100 年時代、認知症は誰にでも訪れうる脳の老化現象のひとつです。この本では高齢者医療に長年携わってきた著者が、脳と身体の老化や認知症について解説しています。

日常生活において前頭葉を刺激し続けることが、認知症を予防し、発症を先送りさせるために重要なポイントです。前頭葉を効率的に鍛えるためのテレビや新聞との向き合い方の5つのヒントも紹介しています。認知症を恐れるのではなく、足腰を鍛えるのと同じように脳の老化予防対策を心掛けましょう。



『お気らくお手がる着物リメイク』
[EMI工房エミ 著]
日本ヴォーグ社

『赫夜』
[澤田 瞳子 著]
光文社



『新陰の大河』
[上田 秀人 著]
小学館

『百年の孤独』
[G. ガルシア=マルケス 著]



新潮社

町民ギャラリー フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・武藤 喜平さん（柴崎）の作品です。



📷 作品紹介

晩秋の朝霜の降った時、滝坂地区の銚子の口の川に降りて撮った1枚です。

山には白い霜がおり、川辺には霧が立ちなんともいえない風景でした。銚子の口は春夏秋冬いつ行っても良いところです。県立自然公園になっていますので、皆さんぜひ観に行ってみませんか。

9月1日、「第1回野沢町内親善スポーツ・レクリエーション大会」がさゆり公園体育館で行われ、野沢町内の9チームが参加しました。

野沢地区では、昨年猛暑で運動会を断念したことから、新たな取り組みとして今年度からエアコンの効いた屋内で行えるスポーツ・レクリエーション大会に変更して、「輪投げリレー」や「玉入れ」など、8種目の競技を行いました。子どもから大人まで楽しいひとときを過ごし、親睦を深めました。



スポーツの秋！！！！

9月1日、「第56回新郷地区町民体育祭」が新郷体育館で行われ、4チームが参加しました。毎年行われている「縄ない競争」や「輪投げ」、前回より取り入れたニュースポーツの「ボッチャ」など、6種目で競い合いました。

新郷地区では、熱中症予防のために比較的涼しい体育館を会場とし、水分補給をするなどの対策をして競技を行いました。参加者は競技やチームの応援など、集落を超えた交流を楽しみました。





議案22件を審議・可決 9月町議会定例会報告

9月6日から17日までを会期に開かれた令和6年第5回町議会定例会では、条例の一部改正や令和5年度歳入歳出決算の認定、令和6年度補正予算など議案22件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。

町政の主要事項 報告から

西会津町総合計画（第5次）の策定

令和8年度を初年度とする次期総合計画の策定については、現行の町総合計画が令和7年度に最終年度を迎えます。そのため、まちづくり基本条例に基づき、町民アンケートの実施や公募などによる「総合計画検討会議」を組織するなど、町民の皆さんに参加いただきながら、計画の策定を進めていきます。



▲藤井氏による職員研修：ウェルビーイング指標について

アンケートの実施などにより数値化・可視化する「ウェルビーイング指標（地域幸福度指標）」を活用して議論を深めていきます。計画策定には、町最高デジタル責任者の

藤井靖史氏をアドバイザーに、総合計画検討会議委員と町職員により組織する「総合計画策定プロジェクトチーム」が連携を図りながら、策定作業を進めていきます。

磐越自動車道4車線化等事業の進捗について

会津若松方面の西会津・会津坂下インターチェンジ間の4車線化（工事延長9.1km）については、9月より地すべり地帯が動き出さないようにするための水抜き工や盛土工といった準備工事に着手することとしています。これに伴い、工事説明会を8月28日に縄沢自治区、翌29日に萱本自治区で実施しました。

また、新潟方面の西会津・津川インターチェンジ間（工事延長8.8km）についても、昨年から鬼光頭川や安座川に係る工事用仮橋および道路の設置工事を進めています。また、トンネル工事による排出土の盛土場を町内に造成するための自治区説明会などを行っています。

妊婦にやさしい遠方 出産支援事業

国は周産期医療の体制補完と少子化対策の一環として、自宅から最寄りの分娩取扱い施設までの移動に要した往復の交通費と、その施設の近隣宿泊施設で待機が必要となった場合の妊婦と同行支援者1人までの宿泊費について、最大14泊分までを助成しています。町では、これら国の助成制度に加え、利用者の自己負担分と助成制度の対象外とされている高速道路の利用料について、町独自の上乗せ分として助成します。

渇水対策の状況について

渇水による住民生活の安定と農作物への被害防止を図るため、6月1日に西会津町渇水対策本部を設置しました。特に、農業用水については、田植期の水不足に伴い、揚水ポンプで対応する農家や自治区があり、例年になく経費が発生し経営に影響を与えている状況です。このため、ポン

プの購入費や燃料費などの一部を補助する「農作物等渇水対策事業」を、一般会計予算費を活用して実施することとしました。

農林産物風評払拭事業

7月12日、13日に、喜多方市・北塩原村・JA会津よつばと合同で、会津産農林産物の風評払拭活動を実施しました。初日は、令和元年4月から市内全公立小中学校の給食に3市町村産のコシヒカリが使用されている千葉県市川市の田中甲市長を表敬訪問しま



▲いちかわごちそうマルシェ

した。

2日目は、市川市の「いちかわごちそうマルシェ」で、会津産農林産物の安全性や品質の良さをPRしました。また、5年ぶりに神奈川県小田原市のスーパーマーケット・ヤオマサで、本町とJAによる町単独のトップセールスを行い、流通関係者とともにミナラル栽培野菜などの販売を行いました。

8月1日、2日には、会津十七市町村とJA会津よつば合同で、「会津ものづくりフェスタ2024」と題して、会津十七市町村のPR、物産品の試食販売を行いました。今後も、積極的な風評払拭活動を行い、西会津産農林産物の安全・安心をPRしていきます。

可決された議案

- ◆町税条例の一部改正（国の税制改正に伴う所要の改正）
- ◆町国民健康保険条例の一部改正（マイナンバーカード）

- と健康保険証の一体化が施行され、現行の国民健康保険の被保険者証廃止にともなう所要の改正
- ◆令和5年度決算の認定（一般会計ほか）
- ◆令和6年度一般会計補正予算（第3次）（普通交付税の決定および令和5年度繰越金の確定、道路橋りょう河川災害復旧費の追加計上など4億2192万3千円を増額）
- ◆令和6年度特別会計補正予算（国民健康保険・介護保険特別会計）
- ◆町名誉町民の決定への同意（新田興助さん（神奈川県横浜市）の決定に同意）
- ◆町特別功労表彰者の決定への同意（齋藤博之さん（堀越）の決定に同意）
- ◆教育委員会委員の任命への同意（矢部佳宏さん（中ノ沢）、佐藤恵子さん（上野尻）の任命に同意）
- ◆人権擁護委員候補者の推薦への意見（長澤文子さん（芝草）、鈴木賢治さん（山口））

町教育委員会委員を任命 2人の教育委員会委員を再任

町教育委員会教育委員の任期満了に伴い、町では9月議会定例会での同意を得た矢部佳宏さん（中ノ沢）と佐藤恵子さん（上野尻）の2人を再任しました。これを受け、10月8日に辞令交付式が町役場で行われました。委員の任期は、令和6年10月5日から令和10年10月4日までです。



写真左から矢部佳宏委員、佐藤恵子委員

税徴収の取り組みが評価 個人県民税優良町として表彰

令和6年度個人県民税優良市町村が発表され、本町の収納率や税徴収の取り組みが認められ、県から表彰を受けました。本町の令和5年度の収納率は99.6%で、前年度を0.16%上回る収納実績となり、収納率の増加や税徴収に向けた町の取り組みなどが評価されました。9月2日には町役場で個人県民税優良町知事感謝状伝達式が行われ、会津地方振興局の本田伸雄局長（写真右）より薄町長へ感謝状が伝達されました。





町の暮らしをもっと楽しく、もっと豊かに 移住者交流会

8月30、31日の2日間、にぎわい番所ぶらっとで移住者交流会が開催され、合わせて21人が参加しました。はじめに、参加者それぞれが町に移住したきっかけなどについて話しました。その後、地元出身の町職員も交え、町での暮らしや疑問に感じていたことなどについて和気あいあいと語り合い、参加者同士つながりを深めていたようでした。移住者交流会は、今後も定期的に開催していく予定です。



ボランティアを通して地域と交流 獨協大学の学生がボランティア

9月18～20日の3日間、獨協大学（埼玉県）の経済学部高松ゼミに所属する学生約40人が町を訪れました。19日には、にしあいづ福祉会、富士の郷の2班に分かれてボランティア活動を行いました。富士の郷では、地元の人たちに教わりながら、草刈りや菜の花の種まきを手伝いました。参加した学生は「普段経験できない活動ができてとても楽しい」と話していました。



授業だけでは学べない多様な学びに対応 西会津学びあいランド オープン!

9月20日、西会津中学校で西会津学びあいランドのオープニングセレモニーが行われ、西小6年と西中2年の児童生徒が参加しました。

学びあいランドは、小、中学校の区別なく、人、もの、施設などを活用し、授業だけでは学べない多様な学びに対応できるようにするものです。探究創造ランド、ふるさと未来ランド、世界交流ランド、健康スポーツランド、自然体験ランドの5つがあり、今後は各ランドでイベントなどを開催していく予定です。



▲ふるさと未来ランドでは、器のうつりかわりについて展示が行われました。

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦 4.0cm×横 8.5cm
- ◆掲載料 1 枠当たり 5,000円/月

〈問い合わせ先〉
企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

町職員の給与などをお知らせします 人事行政運営状況を公表

町職員の人数や給与の状況などを地方公務員法に基づきお知らせします。他の団体と比較できるように国の統一公表様式に準じているため、公表の時期は項目により異なります。

〈問い合わせ先〉 総務課 ☎45-2211



◀ 詳しくは町ホームページをご覧ください。

① 職員数の状況（令和5年4月1日現在）

職種	職員数	職種	職員数
行政職	123人	技能労務職	1人
医療職	3人	合計	127人

② 部門別職員数（令和5年4月1日現在）

部門	職員数	部門	職員数
議会事務局	2人	農林振興課	13人
総務課	15人	建設水道課	14人
企画情報課	8人	出納室	3人
町民税務課	13人	学校教育課	8人
福祉介護課	13人	生涯学習課	5人
健康増進課	23人	合計	127人
商工観光課	10人		

③ 人件費（令和4年度一般会計決算）

歳出総額（A）	66億1,757万円
人件費（B）	10億6,080万円
人件費率（B/A）	16%

④ 職員給与の状況（令和4年度一般会計決算）

職員数（A）	給与費計（B）	1人当たり給与費（B/A）
105人	5億7,891万円	551万円

※職員数は一般会計で給与を支出している人数

⑤ 平均給料月額など

職種	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
行政職	309,454円	365,510円	40.1歳

※平均給料月額とは基本給の平均で、平均給与月額は給料月額と扶養手当や住居手当などの諸手当の額を合計したもの。

⑥ ラスパイレス指数（各年度4月1日現在）

年度	西会津町	県内町村平均	全国町村平均
令和5年度	98.4	97.8	96.3
平成30年度	97.9	98.1	96.4

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の町職員の給与水準を示したもの。



⑦ 初任給の状況（令和5年4月1日現在）

区分		西会津町	福島県
行政職	大学卒	189,500円	196,100円
	高校卒	157,900円	162,400円
技能労務職	高校卒	149,500円	160,400円

⑧ 手当の状況

◎ 毎月支給する手当

扶養手当	扶養親族を持つ職員に対して支給
住居手当	借家に居住し家賃を負担している職員に対して支給
通勤手当	使用する交通機関所要額および自家用車の使用距離に応じて支給

◎ 勤務実績により支給する手当

時間外勤務手当	正規の勤務時間を超えて勤務したときに支給
特殊勤務手当	危険、不快、不健康または困難な業務に従事する職員に対して支給

◎ 期末・勤勉手当（令和4年度）

期末手当	勤勉手当	1人当たりの平均支給額
2.35月分	1.90月分	1,363,866円

※職制上の段階などによる加算措置として、役職加算で5～15%を加算しています。期末・勤勉手当は年間4.25月分を6月と12月の2回に分けて支給。なお、国の支給割合は期末手当が2.40月分、勤勉手当が1.90月分。

◎ 退職手当（令和4年4月1日現在）

区分	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.67月分	24.59月分
勤続25年	28.04月分	33.27月分
勤続35年	39.76月分	47.71月分
最高限度額	47.71月分	47.71月分

⑨ 特別職の報酬など（令和5年4月1日現在）

区分	給料月額等	期末手当
給料	町長	750,000円
	副町長	630,000円
報酬	議長	300,000円
	副議長	247,500円
	議員	225,000円



お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
11月の放送案内

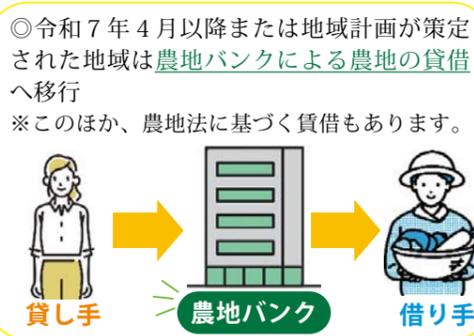
◆西会津ふるさとまつり（11月2日、3日開催）
オープニングセレモニーや民俗芸能と民謡の集いを生中継します。

（一社）西会津ケーブルネット
☎45-4461



農地の貸し借り は農地バンクへ

農業経営基盤強化促進法の改正により、令和7年4月から農地の貸借は「地域計画」に基づき、農地中間管理機構（農地バンク）を介した貸借へ移行します。



◆農地バンクを介した貸借のメリット

- ・賃借料の精算は農地バンクが行うため、賃貸借人双方の精算事務が軽減されます。
- ・一定の要件を満たせば、集落で機構集積協力の交付を受けることができます。

無料調停相談会 を開催します

会津若松調停会では、次のとおり無料調停相談会を開催します。

◆日時
11月20日（水）
午前9時30分～午後6時

◆会場
会津若松市文化センター

◆費用
無料

◆申込
予約不要 当日会場で受付（午後5時まで）

◆相談内容
①民事に関する調停申立
金銭貸借、土地・建物の明け渡し、相隣関係、損害賠償など

②家事に関する調停申立
離婚、子の監護養育、離縁、扶養相続問題など

◆問い合わせ先
福島地方裁判所
会津若松支部庶務課
☎0242-26-5725

◆留意点

・賃貸借人の双方に手数料がかかります。（賃借料の1割で最低800円、最高8000円）

・登記人が死亡していた際には相続関係説明図等が必要となる場合があります。

◆問い合わせ先
農林振興課 農政係
☎45-4531

農地中間管理機構
喜多方推進拠点
☎080-3754-3070

年末調整に 関する相談

喜多方税務署では、年末調整における定額減税事務に関する相談を行います。

◆申込
事前予約が必要です。電話などから予約してください。

◆問い合わせ先
喜多方税務署
☎0241-24-5050

（音声案内中に「2番」を選んでください）

自衛官を 募集しています

自衛隊福島地方協力本部では自衛官（高等工科学校生徒）を募集しています。

詳しくは自衛官募集ホームページ、または左記までお問い合わせください。

また、自宅などでの個別説明にも対応していますので、希望する場合は気軽に相談ください。

◆応募・問い合わせ先
自衛隊福島地方協力本部
会津若松出張所
☎0242-27-6724



▲自衛官募集ホームページはこちら



配食ボランティア 大募集

町では、65歳以上の高齢者や障がい者のみの世帯で調理が困難な人へ、弁当を配達し安否確認を行っています。

現在、利用者の増加に伴い、弁当を届けるボランティアが不足しています。配達は主に町役場から利用者宅までのため、短時間の活動が可能です。

ボランティアに興味がある人は問い合わせください。

◆活動時間
毎週木曜日
午後2時～5時の間で都合の良い時間

◆活動場所
町役場または奥川支所から利用者宅まで

◆問い合わせ先
町ボランティア活動サポートセンター
（町社会福祉協議会内）
☎45-4342

11月19日は いい育児の日

「いい育児の日」は家庭や家族を大切にするライフスタイルや、子どもの成長と子育てを社会全体で応援する機会を高め、子育てを支える家庭や地域の大切さをアピールすることを目的に記念日として制定、登録されました。

また、県では、青少年が心身ともに健やかに成長してい



◆問い合わせ先
子育て支援センター
（こゆりこども園内）
☎45-4332

11月9日～15日 令和6年秋季全国火災予防運動

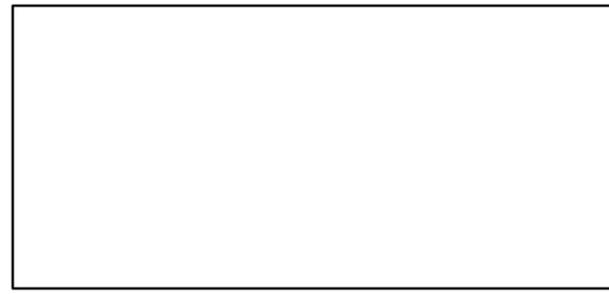
◆統一標語
「守りたい 未来があるから 火の用心」

今年の1月から8月末までに、喜多方消防本部管内で30件（うち西会津町5件）の火災が発生しました。

これまで、住宅用火災警報器を設置していたことで火災を早期に発見することができた奏功事例もあることから、火災で大切な命を失わないために住宅用火災警報器を設置しましょう。



以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。





家族介護者の つどい・相談会

家族の介護をしている介護者の悩み相談や、情報交換をしながら仲間と出会う場として開催します。

保健、医療、福祉分野の専門知識を有する職員も参加しますので、気軽に参加ください。参加費は無料です。

◆日時

11月14日(木)
午前10時～11時30分

◆会場

にぎわい番所ふらっと

◆注意事項

・感染拡大防止のため、マスク着用での参加をお願いします。なお、受付で検温と体調確認をしますので、風邪症状がある場合は参加を控えてください。

・今後の感染流行状況により中止となる場合があります。

〈申込・問い合わせ先〉

にしあいづ地域包括支援センター

☎ 45-33327

児童扶養手当 のお知らせ

11月1日から児童扶養手当の一部が改正され、所得限度額と第3子以降の加算額が引き上げられます。

◆所得限度額の引上げ

前年の所得に応じて、手当の全額を支給する「全部支給」と、一部のみを支給する「一部支給」があります。今回、両方の判定基準となる所得限度額が引き上がります。

◆第3子以降の加算額の引上げ

第3子以降の加算額が引き上げられ、第2子の加算額と同額になります。

※11月分の手当から引上げが適用されますが、11、12月分の手当については、2か月分の支給月である令和7年1月に支払われます。

〈問い合わせ先〉

子育て支援センター
(こゆりこども園内)

☎ 45-4332



町ホームページ▶

風しんの抗体、持っていますか？

風しんは、風しんウイルスによって起こる感染症で飛沫、接触により広まります。最も有効な予防法は予防接種を受けることです。予防接種を受けることは、個人の感染予防だけでなく地域全体の感染予防のためにとても大切なことです。みんなで予防接種を受けましょう。

■ 定期接種の推奨期間
■ 任意接種の接種可能な期間

定期予防接種は2回。忘れずに

1歳から2歳になるまでの間に1回

就学前の1年間にもう1回



子どもの 風しん対策

大人の 風しん対策

2024年4月1日時点で45歳～62歳の男性には、5月に抗体検査や予防接種を無料で受けられるクーポン券を配布していますので活用ください！

妊娠を希望する女性やその配偶者などに対する抗体検査・予防接種の費用を助成している場合もあります。詳しくは子育て支援センターへ相談ください。

〈問い合わせ先〉

子育て支援センター
(こゆりこども園内)
☎ 45-4332

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536

▽ 歯科健診・定期的なメンテナンスを受けましょう

歯科疾患は早期に発見することで、治療効果が高まり、進行を防ぐことが可能と言われています。初期のむし歯や歯周病は自覚症状が少ないことも多く、症状が進行してからでは治療が困難となることもあります。また、口の中の細菌が全身を巡り、さまざまな病気（心疾患、糖尿病、認知症など）を引き起こす可能性があると言われています。これらのリスクを避けるためにも、**定期的な歯科受診や毎日のブラッシング**を行い、歯や歯肉の健康を維持しましょう。体の健康と同様に、口の健康も定期的にチェックしましょう。

▽ オーラルフレイルとは？

オーラルフレイルとは、口の中の健康や機能が低下してしまう状態のことを指します。具体的には、適切な噛み合わせができない、のどに飲み物や食べ物が詰まるといった症状が現れます。オーラルフレイルは高齢者だけではなく若年層でも起こりえます。これは、歯や歯肉の健康状態、口の中の清潔さや発声などの機能全般が関わっています。オーラルフレイルが進行すると、全身のフレイル（身体機能の低下）につながり、生活の質（QOL）が低下します。

予防には、**適切な歯磨きや定期的な歯科受診、口の適度な運動**が役立ちます。口の運動は、食べられなくなる・のどが詰まりやすくなるといったリスクを下げるため、とくに重要です。

すごいな！むし歯のない子



石川 愛翔くん
(1町内)



鈴木 大翔くん
(4町内)



渡部 結乃ちゃん
(堀越)



武藤 桜恵ちゃん
(八重窪)

9月26日、3歳児6人を対象に健康診査を行った結果、4人にむし歯がありませんでした。



皆さんは、日々の生活の中でどれだけ歯の健康に意識を向けていますか？
歯と口の健康は、全身の健康に深く関わっています。毎日の小さなケアが、長期にわたって健康を守る大きな力になります。ここで一度、自分自身の歯の健康を見つめ直し、いい歯、いい笑顔を保つためのステップを踏み出してみましよう。



健康増進課 健康支援係
三瓶 弘枝 保健師

おでこ体操（1回5秒×5回 1日8セット）

のどの周りの筋肉を鍛えて、誤嚥（飲み込んだ食べ物などが、気管に入ること）を起こしにくくします。

1. イスに座り、おでこに手のひらの下の方を当てます。
2. 顔を下に向けようとし、手のひらはおでこを押し戻すように上げようとして力を加えた状態を5秒間保ちます。のどぼとけ辺りにしっかりと力を入れましょう。



戸籍の窓口 (9月受付分)

■ まちの人口

	10月1日現在	(前月比)
人口	5,440人	(-12人)
男	2,659人	(-7人)
女	2,781人	(-5人)
世帯	2,472世帯	(-8世帯)

■ お誕生おめでとう

中野目 ^{みらい} 望頼くん 一樹・志保 7町内

佐藤 ^{ゆうせい} 祐成くん 祐規・由美 徳沢

■ お悔やみ申し上げます

須藤	チヨ子 (92)	忠安	母	2町内
石川	迄子 (100)	雅一	母	2町内
伊藤	勝則 (63)	フヨ	子	下小屋
石川	テツ子 (94)	公一	母	芝草
齋藤	熊吉 (99)	一則	父	尾登
新田	富美子 (82)	佳男	母	程窪
江川	米子 (92)	真弓	母	屋敷
上野	勉 (93)	利春	父	呼賀
佐藤	行宏 (86)	洋一	父	橋屋
玉木	則男 (65)	芳市	子	中ノ沢

Dream 聞いて！わたしの夢



[西会津中3年・選挙管理委員長]

みずの ももえ
水野 百恵 さん

◆私の夢——

私は、将来なりたいと思っている職業はまだありません。ですが、人を笑顔にすることと自分が楽しいと思える職業に就きたいと思っています。

◆努力していること——

そのために心掛けていることは、自分の身の周りの人を大切にすることです。

努力していることは、周りをしっかり見て、積極的に行動し、たくさん気遣いできるようにしています。

◆未来の自分に一言——

お元気ですか？

夢は決まって、叶えられていますか？

これからも幸せに過ごしてください！！

Person 町民バトンタッチ

さいとう みつる
齋藤 充 さん [上小島]

◆趣味

週1回のバレーボールが楽しみです

◆特技は？

手押し相撲

◆熱中していることは？

読売ジャイアンツ・大リーグ
ドジャースの熱血応援

◆自分を一言で表現すると？

アナログ

◆あなたのモットーは？

現状維持

◆最近感動したことは？

THE FIRST SLAM DUNK
数々の名言に何回観ても涙して
しまいます

◆これからやってみたいことは？

息子とプロ野球観戦

◆次の方を紹介してください

M・Iさん

とっておきの物は？

息子と孫、4人で写っている写真です。

子どもたちと孫の成長が
楽しみです。



渡部 寅雄さん (10月号)
からメッセージ

今度、飲みに行こう



Column

協力隊リレーコラム

こんにちは！協力隊の長橋です！
もう早いもので、任期の3年間も終わりに近づいています。まずは、お世話になった皆さま、ありがとうございます！
活動の中心だった、野沢の「ぶらっと」で毎週火曜日に開いているデジタルよろず相談では、スマホやパソコンなどさまざまなお悩みの相談がありました。私自身とても勉強になることばかりでしたし、毎週来てくださる方などいても、いつも楽しい時間でした。
そして、よく質問されますが、退任後も西会津にいます。町をとっても気に入っていますし仕事もありそうですので、ひとまず住み続けていく予定です。どうぞよろしく願います。
お知らせですが、今後の活動のひとつとして上野尻に小さな喫茶店を始める予定です。そこではデジタルよろず相談も引き続き行っていこうと思っていますので、お茶呑みながら気軽に使ってくださいませ。それではまた！

お世話になりました！



ながはし ゆきひろ
長橋 幸宏 隊員

2023年4月に協力隊就任。
91年生まれ。東京都出身。企画情報課デジタル戦略室に所属。主に、デジタルよろず相談や石高プロジェクトに携わる。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その90-② (後編)

文：鈴木 圭介

井谷村のロマン —水路の遺構—

(前号よりつづき)

井谷には江戸時代中期に開田されたと推定される美しい棚田があります。その棚田を潤す「大平堰」は井谷川の上流から水を引いており、井谷の集会所横(標高 190 m)を通過しています。「万之丞せき」の標高は、およそ 230 mなのでこれより約 30 m以上高く、水源地は井谷集落の上部に相当します。私が考える水源地は集落の上手の「水上林」になります。水上林にはブナ林が広がり、当時は水量が豊富であったと考えられます。

井谷から樟山への峠道(旧道)の下塔婆様の三叉路に「右樟山奥川左柴崎津川」の石の道標があり、私が中学を卒業した昭和 27 年(1952)頃まではこのすぐ下手に 20 アールほどの見事なブナ林がありました。数百年前の水上林もすべてブナで覆われ、沢には豊富な湧き水がいつも流れていたと考えると水路の工事計画は理解できます。

謡曲「玉葛」は 600 年前に作られた作品で、奈良・長谷寺(真言宗豊山派本山)近くの「初瀬川」で女の人が舟を漕ぐ場面があります。今では水無川同然の川ですが 500～600 年前には、常に舟を漕ぐほどの水量があったという証拠になります。

一般に人が住み始めると、建築材や燃料を近くの山林に求め、徐々に天然林は里山の薪炭林に代わってしまいます。たとえ小さな集落であっても、長い年月のうちに周囲の天然林を壊してしまうことになります。

最近、万之丞の手がかりとなりそうな人物が分かりました。先にこの欄で書いた「明神橋物語」の関連で新郷村、登世島村、山郷村 3 カ村の借金保証人が木曾、西羽賀、山郷 3 カ村組合長の田代万之丞殿となっていました。

山都(木曾)の田代家は、代々、肝煎の家柄で事業家でもありました。その後、一族は都会に出て、現在は屋号の判別できる土蔵のみが残っているそうです。この家の万之丞を襲名した誰かが、水路工事を進めたのは間違いないでしょう。

私が若い時にキノコ採りで発見した遺構の場所は、近年、林業機械が入り伐木運材を行っていたので探すのは難しいと思います。



▲ 下塔婆様の道標



▲ 健康スポーツランド

「西会津学びあいランド」の取材に伺い、学年、世代を超えて交流する皆さんの姿に授業だけではなく西会津らしい「学び」を感じました。

編集後記

先月10月号から「西会津町誕生70周年特集」を掲載しています。先月号でもお知らせしたとおり、特別企画として10月号から来月12月号までの3つの表紙を横に並べると1枚の風景写真になります。また、今回使用している写真は西会津町の職員がドローンで撮影したものです。町ホームページなどにも使用されており、町を俯瞰して見渡せる貴重な写真です。

今月の表紙